

シンポジウム

日本とドイツにおける予防医学と公衆衛生

ー過去から未来へー

主催 : 千葉大学
ベルリン公衆衛生大学院 (BSPH)
シャリテーベルリン医科大学
在ドイツ日本国大使館
ベルリン日独センター

開催日時: 2014年2月18日(火)、13:30 ~ 17:00

開催場所: ベルリン日独センター (JDZB)
Saargemünder Str. 2
14195 Berlin
電話: (030) 839 07 0
FAX: (030) 839 07 220
E-mail: jdzb@jdzb.de
ホームページ: <http://www.jdzb.de>

会議言語: 日独英語 (同時通訳付き)

開会の挨拶

- 千葉大学長 齋藤 康
- 在ドイツ連邦共和国特命全権大使 中根 猛
- ベルリン日独センター副事務総長 坂戸 勝
- シャリテー - ベルリン医科大学公衆衛生大学院長・教授
ジャクリーン・ミュラー＝ノルドホーン

1. 日本人医学者のベルリンでの足跡ー森 鷗外の場合ー
千葉大学 森 千里教授 : 20分
2. ドイツにおける公衆衛生の歴史
BSPH ブリギッテ・ミヒェル博士 : 20分
3. 日本における予防医学と公衆衛生の新しい挑戦
ー革新的予防医学ー
金沢大学 中村 裕之教授 : 20分
4. ドイツにおける予防医学と公衆衛生の今後
BSPH ジャクリーン・ミュラー＝ノルドホーン教授: 20分

休憩: 30分

5. ディスカッション: 公衆衛生と予防医学の領域の今後と国際化
千葉大学 羽田 明教授, 長崎大学 篠原 一之教授、マーストリ
ヒト大学、オランダ ヘルムート・ブランド教授、共同福祉総連
合会代表、BSPH ロルフ・ローゼンブロック教授
司会進行:
シャリテーベルリン医科大学 ペーター・ティネマン博士
: 60分

閉会の挨拶

金沢大学長 中村 信一